



重要文化財「札幌農学校第 2 農場」 一般公開の再開について（お知らせ）

一般公開の概要：耐震改修工事のため、重要文化財「札幌農学校第 2 農場」の一般公開を休止していましたが、6 月 14 日（日）より公開を再開します。

公開日程：2015 年 6 月 14 日（日）～2015 年 11 月 3 日（火・祝）

10:00～16:00（毎月第 4 月曜日休館）

所在地：札幌市北区北 18 条西 8 丁目（札幌キャンパス内、エルムトンネルのほぼ直上）

地下鉄南北線北 18 条駅より徒歩 6 分

「札幌農学校第 2 農場」は、クラーク博士の大農経営構想により、明治 10 年に建築した模範家畜房（モデルバーン）や穀物庫（コーンバーン）をはじめとする我が国最古の洋式農業建築群を揃え、ここから日本畑作・酪農の技術普及が進んだため、国の重要文化財、北海道産業遺産などに指定されています。

当公開施設内には、日本全国の鋤、開拓使顧問ケプロンが明治 6 年までに輸入したアメリカ製畜力農具、札幌農学校が明治 30 年までに揃えた大規模酪農経営体の洋式高性能農具などを展示しています。これらを見本にして国内の農機具産業が育ちました。

開拓時代を思い起こさせる建物が点在する風景は、教職員、学生だけでなく市民の皆様にも親しまれてきました。5 月末までの耐震改修工事後、展示復元作業を経て、6 月 14 日（日）より一般公開を再開します。



お問い合わせ先

北海道大学理学・生命科学事務部事務課 博物館担当

TEL : 011-706-2658 FAX : 011-706-4029 E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp